

豊浜中学校区 カリキュラムマップ

目指す児童生徒像

○主体的に深く学び、思いを表現できる子

1 「育成すべき資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	思考力・判断力 ・表現力	主体性	コミュニケーション (協働する)力	夢を持ち 挑戦する力
後期	各教科等に関する個別の知識や技能等を身に付けている。	自ら課題を設定し、課題解決のための思考スキルを活用して情報収集、分析をし、自分の言葉や表現方法で伝えることができる。また、新しい価値を創り出し、生活で活用することができる。	自ら学ぶことの意味や価値を認識し、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか考え、行動することができる。	自己の立場や役割を認識しながら、異なる背景や価値観をもつ人々と協働することができる。	夢をもち続け、チャレンジ精神をもって目標達成のためPDCAを行い、粘り強くチャレンジすることができる。
中期		課題を解決するために、見通しをもち、関連付けたり多面的にみたり評価したりして判断し、教科等で学んだ表現方法で伝えることができる。また、生活に広げたり、応用したりできる。	自ら進んで課題を発見し、社会との関わりを意識しながら、課題解決に向けて取り組むことができる。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら協働することができる。	夢をもち、目標に向かって、達成する手立てを考え、粘り強くチャレンジすることができる。
前期		課題を解決するために、見通しをもち、比べたり変化をとらえたりして考え、教科等で学んだ表現方法で伝えることができる。また、生活で活用することができる。	意欲的に課題解決に向けて取り組むことができる。	素直な心で相手と接したり協力したりすることができる。	目標に向かって、達成する手立てを考え、前向きにチャレンジすることができる。
		自分の考えを理由付けたり、友達のと比べたりしながら、順序立てて伝えることができる。また、学習と生活の結び付きに気付くことができる。	意欲的に学習することができる。	友達や先生、家族をはじめ、地域の様々な人々と自分から関わるることができる。	自分の目標に向かって、前向きにチャレンジすることができる。

2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	社会貢献・自己実現に向けて学ぶ	地域の教育資源（人・もの）を活用した体験活動により、自己を振り返り、自己と社会との関わり、今後の生き方・在り方等について考え、まとめたり表現したりする学習活動を取り入れた。
中期	地域に関わる体験を通して学ぶ	国語科では「収集した情報をまとめたり表現したりする基礎的・基本的な知識・技能」の育成を重点化し、総合的な学習の時間との関連を図った。
前期	地域とのつながりから学ぶ	社会科で身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を生かして総合的な学習の時間の課題設定を行ったり、国語科で身に付けた情報をまとめたり表現したりする基礎的・基本的な知識や技能を総合的な学習の時間で生かしたりする。

3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

- 総合的な学習の時間は、9年間を通して、生き方学習とふるさと学習を意図的・計画的に配列している。生き方学習では、社会貢献や自己実現につながる単元づくりを、ふるさと学習では、地域の資源を生かした単元づくりを進めていく。その際に、地域と連携した体験活動を設定し、地域の課題を知り、地域のために役立つ行動を考え、実践していくことを計画している。そして、体験活動と各教科の学習とを横断的につなぎ、課題発見・解決学習を展開する中で、児童生徒の主体的な学びを促すとともに、本中学校区で育成すべき資質・能力の育成を図ることをねらった。

